

Q9. 週3回、4時間の血液透析を受けていますが、もっと回数を少なく、短時間透析にすることは困難な事なのでしょうか。

A.

現在の透析患者さんの透析時間としては、中には週2回の人もありますが、週3回4時間の場合が最も多いと思います。

以前は1回の透析時間が5~6時間であった時代もありました。では透析時間と回数どのように決めているかという、一番透析間隔が開いている時の透析間（透析と次の透析までの間）の体重増加量とカリウム、尿素窒素（BUN）、クレアチニンなどの血液データをみて判断します。つまり最も血液の数値が上昇し、水分が貯留（体重が増加）した時点でも心不全、肺うっ血などを起こさずに、また高血圧、高カリウム血症なども許容範囲内になるようにする事が基本です。

それに、各患者さんの年齢、合併症（主として心機能など）を加味します。高齢者ほど、また心機能が低下している人ほど、透析間の体重増加量が多いと、より負担がかかります。そのため1回の透析での負担を減らすため透析回数を多く（週2回より週3回）したほうがよいと考えられます。

以上の点から、現在週3回4時間透析の人が透析回数や透析時間を減らす要件としては、その減らした透析量（透析時間×透析回数）でも透析間の体重増加量を体重の5%以内（高齢者、心機能低下例では体重の3%以内）で、かつ透析前のカリウム、リン、尿素窒素値などが許容範囲内に維持できるのであれば可能だといえます。但し、以上の条件を満たすために無理をして十分な食事量が摂れない、そのために必要な栄養が摂取できないようであれば減らすべきではありません。

最近の統計では十分な透析量を確保する方が生命予後がよい（長生きできる）といわれています。

医師